

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 食と農の魅力発信強化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内4064)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	7,000	7,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

・名古屋栄に設置している「GIFTS PREMIUM」は、食と農のアンテナショップに観光案内、移住相談の機能が集約した「観光・食・モノ」情報発信拠点として、効果的な情報発信が求められている。

・新しい生活様式の広がりとともに、今日市場規模を伸ばしているEC市場はさらに拡大しており、EC強化により販売力及び情報発信力の強化を図る必要がある。

(2) 事業内容

○取扱商品の拡大、看板商品の創出

トライアル商品キャンペーンにより、6次産業化事業者のECへの取組意欲を醸成し取扱商品の拡大を図る

売れ筋商品キャンペーンにより、売れ筋商品からGIFTS PREMIUMを代表する看板商品化を図る。

○SNSを活用した情報発信

実店舗や生産現場から商品情報など旬の話題を定期的にライブ配信し、ECサイトへの誘導を図る。

Instagramを活用し、短尺動画形式で6次産業化商品の特徴やレシピを紹介。ECサイトへ誘導することでECサイトの活性化を図るとともに、ネット上での情報拡散により認知度向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は多大であり、新しい生活様式の中で6次産業化商品及び県産農産物等の販路拡大を図るものであり県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

あり

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,000	キャンペーンの実施、ライブ配信、SNSによる情報発信
合計	10,000	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画

(2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

①地産地消県民運動の展開

地域資源を活用いた6次産業化の推進

(3) ぎふの農畜水産物のブランド展開

②大都市圏の需要喚起に向けた販売促進の強化

中京圏プロモーションの実施

(2) 国・他県の状況

長野県、奈良県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

名古屋栄の「観光・食・モノ」情報発信拠点「GIFTS PREMIUM」を活用し、効果的なPR活動の展開により6次産業化商品の販路拡大を図りたい。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 6次産業化認定事業者数	93	98	106	108	111	88%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	R3年度新規事業のため、実施なし
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	Instagramを活用した「GIFTS PREMIUM」PRキャンペーンにより、Instagramのフォロワー数の拡大を図った。 魅力ある店舗づくりのためのアンケート調査を実施し、店舗づくりにフィードバックした。
	指標① 目標：102 実績：98 達成率：96 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	・SNS等の活用による効果的なPRは今後も重要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	・情報発信により、6次産業化の認知度向上が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	・SNS等の活用により効率的にPRすることができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ・SNS等のフォロワーを顧客へと誘導する必要がある。 ・ECサイト内の商品情報の拡充やキャンペーンの実施等、サイト内強化を図る必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・ネット社会において、SNS等を活用した情報発信は、今後、重要度がさらに高まるものと考えられる。効果的なPRを展開していくためにも、ECサイトと連動させ、さらにEC事業の強化につなげていく必要がある。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】